

公益財団法人 庭野平和財団
平成 22 年度 事業報告
(平成 22 年 4 月 1 日～11 月 30 日)

1. 事業報告

A. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

1. 「平和と宗教」研究活動事業

(1) 第 3 回 GNH シンポジウム開催

- ① 日時：平成 22 年 10 月 22 日
- ② 会場：中野サンプラザ研修室
- ③ テーマ：地元学の実践-水俣から世界へ
- ④ 講師：吉本哲郎氏（地元学ネットワーク主宰）草郷孝好氏（関西大学教授）
榎ひさ恵氏（明るい社会づくり運動理事長）
- ⑤ 概要：草郷氏、吉本氏の講演後、榎氏も交えパネルでスカッションの後、参加者と討論。参加者は宗教関係者、市民活動家など約 60 名。終了後、懇親会開催。

(2) 日韓宗教指導者フォーラム開催

- ① 日時：平成 22 年 11 月 23 日
- ② 会場：ホテルサンルート高田馬場
- ③ 概要：日韓の宗教指導者フォーラムの設立準備会議。日本と韓国の宗教者 20 名が参加。「東アジアの将来と日韓宗教指導者の役割」と題し、月刊誌、「世界」編集長の岡本氏が講演と討議。その後、「フォーラム」の規約等について話し合った。

2. 「平和と宗教」研究活動事業（京都シンポジウム事業）

(1) 庭野平和財団京都講演会 2010 開催

- ① 日時：平成 22 年 5 月 14 日
- ② 会場：立正佼成会京都普門館
- ③ テーマ：メインテーマー京都発：宗教者の新たなチャレンジ
サブテーマー女性、仕事、そして平和（女性の社会起業による平和な社会の実現を目指して）

④講師：第27回庭野平和賞受賞者、エラ・ラメシュ・バット女史、奥谷京子氏（WWB ジャパン代表）

⑤概要：バット女史の基調講演、バット女史と奥谷氏の対談後、参加者との質疑応答。参加者は近畿各県の宗教関係者、社会起業家、NPO関係者など約150名。

なお、上記の事業については財団ホームページに記載し、広く一般に公開した。

3. 普及啓発事業（ウェブ制作・広報事業）

事業の成果についてホームページ、E-mail等を利用して、情報公開を行った。

B. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞事業

1. 庭野平和賞

(1) 第27回庭野平和賞贈呈式

①受賞者：エラ・ラメシュ・バット女史（インド）

②日時：平成22年5月13日（木）

③会場：日本外国特派員協会（東京都千代田区）

④概要：駐日インド公使、日本宗教連盟理事長、文部科学事務次官他、宗教者、学識経験者、財団関係者など140名が参加。

(2) 京都シンポジウム-「庭野平和財団京都講演会2010」として開催。（上記）

(3) 第28回、29回に向けての準備

平成22年 10月 庭野平和賞委員会を開催し、第28回平和賞最終候補者3名を選定、調査後、最終候補者1名に絞り込み。

平成22年 11月 最終候補者の受賞受諾確認後、訪問。第29回候補者推薦依頼準備。

2. 庭野平和賞委員会

(1) 執行委員会 5月12日、10月18日

(2) 定例委員会 10月19日

C. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成事業

1. 公募助成

立正佼成会一食平和基金からの指定寄付による活動助成を公募により実施。

(1) 助成総額 10,000,000 円

(2) 受付期間

(前期) 平成 22 年 3 月 15 日～4 月 30 日

(後期) 平成 22 年 7 月 1 日～8 月 13 日

(3) 申請総数

(前期) 74 件

(後期) 72 件

(合計) 146 件

(4) 助成選考委員会

(前期) 平成 22 年 7 月 8 日

(後期) 平成 22 年 9 月 27 日

(5) 採択件数・助成総額

活動 (前期) 8 件 5,000,000 円

(後期) 9 件 5,000,000 円

(合計) 17 件 10,000,000 円

(6) 助成選考委員 (敬称略)

石川治子 (委員長)

カトリック中央協議会・社会福音化推進部

福澤郁文

株式会社デザイン FF 代表

茅野俊幸

シャンティ国際ボランティア会専務理事

秀島くみこ

立正佼成会一食平和基金事務局員

2. NPF プログラム (事業型助成プログラム)

(1) 北東アジア平和と和解

① 北東アジア平和推進計画

ARI (Asia Regional Initiative-韓国) 主催によるワークショップ、「ISA
ワークショップ 2010」開催支援。

② 第 3 回東アジア平和フォーラム

11 月 5 日～7 日に韓国、ソウルで開催されたフォーラム開催支援。

- (2) グループ研究「現代世界の危機と新しい民衆宗教」
平成 21 年 7 月に開催された国際会議の成果発表講演会支援の予定。成果物の出版が遅れており、本年度は開催されなかった。
- (3) 国際協力 NGO 次世代リーダー育成研修/助成事業（共催:国際協力 NGO センター）
 - ① 助成事業（人件費助成）
 - ② 次世代 NGO リーダー5 ヶ年評価事業
 - ③ アクションプラン再構築研修事業
- (4) 9 条アジア宗教者会議準備会議
平成 23 年 11 月に沖縄で開催予定の第 3 回「9 条アジア宗教者会議」の準備会議（平成 23 年 11 月 24 日～26 日、沖縄にて開催）等への支援。

3. 臨時助成

緊急を要するものに対する理事長決裁による助成

- (1) 助成事業名：「人材養成講座・引き算型へのまちづくり」
被助成団体：特定非営利活動法人 明るい社会作り運動
助成額：60 万円
- (2) 助成事業名：「被爆者の声を受けつぐ映画祭」
被助成団体：被爆者の声を受けつぐ映画祭実行委員会
助成額：10 万円
- (3) 助成事業名：「年末・年始、生活困窮者への炊き出し活動支援」
被助成団体：日本基督教団神奈川教区寿地区センター他 5 団体
助成額：100 万円

4. 指定寄付による助成

- (1) 庭野平和財団南アジアプログラム

立正佼成会一食平和基金からの指定寄付によって実施。2010 年度はインド 2 件、バングラデシュ 1 件のプロジェクトを助成。

2. 庶務の概要 (平成22年4月1日より平成22年11月30日まで)

平成22年度の庶務の概要につき、以下のとおり報告する。

1. 認許可事項

公益財団法人への移行についての認可 (府益担第3540号 平成22年11月18日)

2. 会議開催状況

理事会、評議員会、監査等の開催状況は次の通り。

(1) 理事会

第70回理事会 (平成22年6月9日)

第1号議案	議案について
第2号議案	平成21年度事業報告について
第3号議案	平成21年度決算報告について
第4号議案	資産運用基本方針について
第5号議案	平成22年度事業計画案の文言の訂正について
報告事項	事項1 第27回庭野平和賞について 事項2 公益財団法人への移行について 事項3 南アジアプログラムの進捗状況について

(2) 評議員会 (平成22年6月9日)

第65回評議員会

第1号議案	議案について
第2号議案	平成21年度事業報告について
第3号議案	平成21年度決算報告について
第4号議案	資産運用基本方針について
第5号議案	平成22年度事業計画案の文言の訂正について
報告事項	事項1 第27回庭野平和賞について 事項2 公益財団法人への移行について 事項3 南アジアプログラムの進捗状況について

(3) 監査

実施日： 平成22年5月27日 (木)

内 容： 平成21年度会計監査・業務監査

3. 寄付の状況

ア. 受付件数 9件
イ. 受付金額 1,840,000円

4. 事務局人員構成（平成22年11月30日現在）

常勤	野口 陽一	専務理事
	高谷 忠嗣	事務局長
	大友 伸洋	総務主査・助成担当
	橋本 孝予	総務部総務担当
	仲野 省吾	南アジアプログラム・プログラムコーディネーター
非常勤	中島 由佳	事業開発担当

以上